

# 令和8年度 子供の万引き防止啓発「リーフレット」「デジタルワークシート」 活用の手引き

近年、都内における子供による万引きは、近年減少傾向であったものの、令和5年以降増加しています。そのため、重大な犯罪の入口とも言われる万引きの未然防止に向け、子供の規範意識を育むことが重要です。学校・家庭・地域が一体となって本取組を推進していただきますよう御協力を御願いたします。

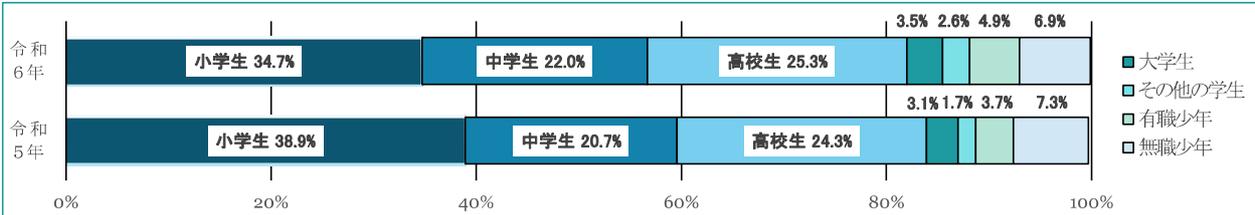
## ● 万引きに関する法律 刑法第 235 条(窃盗罪) 10 年以下の拘禁刑又は 50 万円以下の罰金

## ● 万引きに関する統計 (警視庁「少年育成活動の概況」を基に都が作成)

### (1) 都内における少年による万引きの検挙及び補導人員の推移



### (2) 都内の少年による万引きの検挙及び補導人員 学識別状況(過去2年分)



## ● リーフレット・デジタルワークシートで学習できる内容(ポイント)

【考えてみよう】 万引きをしたときの自分や周囲の人の気持ち、誘われたときにどうすればよいか等を考え、万引きをしない・させない気持ちを育みます。

【やってみよう】 周りの友達とのやり取りを通して、万引きをしている友達を見たり、万引きに誘われたりしたときに活用できる断り方などの技能を身に付けます。

## ● リーフレット・デジタルワークシート活用場面(例)

朝の会・帰りの会等の短時間で活用できます。生活指導・安全指導・進路指導等、あらゆる場面で御活用いただけます。活用場面の一例を掲載しておりますので、吹き出し内の活用例を参考に、各学校の実態に応じて御活用ください。

### 日常的な指導場面

集会(全校集会・学年集会等)  
朝の会・帰りの会

デジタルワークシートの活用

### 行事等における指導場面

特別活動(学級活動、児童会活動・生徒会活動、学校行事等)  
青少年の被害・非行防止全国強調月間、長期休業日前の指導、セーフティ教室及び職場体験活動の事前事後学習 等

適切な意思決定や行動選択ができるよう時間を確保し、問いについて考えさせる

学校公開日として保護者・地域住民を含めた啓発が可能

### 教科等における指導場面(教科名等)

特別の教科 道徳

善悪の判断、自律、規則の尊重、遵法精神等の内容項目で導入や終末に用いる

総合的な学習の時間  
生活科(町探検)  
社会科(法教育)

万引き防止に関する法的理解を深めさせる。万引きがもたらす社会的影響を考察させる

学級活動(意見交換)  
図画工作科・美術科(啓発ポスター制作)

万引き防止の関心を高め学んだことを表現する

### 家庭・地域との情報共有の場面

学校便り・学校 WEB サイト

家庭向け連絡システム等を活用して保護者に周知し、家庭でも話題にするよう促す

保護者会  
学校運営協議会

保護者・地域の対応について意見を交換する

※配布時期に関しては、学校の実情に沿った時期を設定し、御活用ください。 例:年度当初(4月)、長期休業日前(7月、12月)

## ● ①リーフレットのデジタル版、②デジタルワークシート、③活用の手引き、④指導例

本資料を含めた「万引き防止の学習・指導」に関する諸資料は、以下の東京都ホームページの URL 及び 二次元コードからも御覧いただけます。

<https://www.tomin-anzen.metro.tokyo.lg.jp/chian/hikou-boushi/leaflet>



# 万引き防止啓発「リーフレット」「デジタルワークシート」を活用した指導例

小学校低学年

○授業のねらい

(1)万引きは犯罪であることを理解し、してはならないこととして正しく区別できる判断力を養う。

(2)万引きは自分だけの問題だけではなく、お店の人や家族など、周りに傷つく人がたくさんいるということに気付かせる。

○授業の流れ (45分)

	活動の内容	指導上の留意点
導入 5分	<p><b>1 課題意識をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「万引き」がどういった行為のことか発言する。</li> <li>・万引きは犯罪であることを知る。</li> </ul> <p><b>2 学習問題を確認する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット「万引きとは…？」を電子黒板等に写すなどして視覚化する。</li> </ul>
	<p><b>【学習問題】 万引きをすると、自分や周りの人はどうなるか考えよう。</b></p>	
展開 30分	<p><b>3 「考えてみよう①」に取り組む。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○×クイズに答える。</li> </ul> <p><b>4 「考えてみよう②」に取り組む。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたが万引きをすると周りの人がどう思うかについて考える。</li> </ul> <p>児童1「私は『お店の人』が『かなしむ』と思います。なぜなら大切な商品だからです。」</p> <p>児童2「僕は『家族』が『つらい』気持ちになると思います。なぜなら大切な家族が悪いことをしてしまったからです。」</p> <p><b>5 体験して考えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割演技（ロールプレイ）する。</li> <li>・万引きに誘われた時の断り方や、友達に万引きをさせないための言葉がけを練習する。</li> </ul> <p>例1 先生 「このお菓子、万引きしようかな。」 児童1 「万引きはだめだよ。」 児童2 「万引きなんてやめようよ。」</p> <p>例2 先生 「このおもちゃ、万引きしようよ。」 児童3 「万引きなんてやらないよ。」</p> <p><b>6 万引き防止の合言葉を全員で言う。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○又は×と判断した理由を発言させ、児童の多様な考えを引き出す。</li> <li>・一人1台端末を活用して、リーフレットに掲載していない他の○×クイズに取り組む。</li> <li>・「ほかにどんな考えがあるかな」は自由記述欄である。児童同士で話し合わせ、多角的に考察させる。</li> <li>・「誰」が「どう思うか」を発問し、「なぜそれを選んだか」と理由も問いかけ、考えさせる。</li> <li>・児童と児童、児童と教師、教師と学習支援員等で、実際に断る場面を役割演技し、対応する技能を身に付けさせる。</li> <li>・役割演技を見ている児童にも自分ならどうするか問いかけ、発言させる。</li> <li>・万引きをすると、その後、店から警察へ通報することになっていることを伝える。</li> <li>・左記の他にも、児童に多様な言い方を考えさせ、学級内で紹介させる。（「お金をためて買おうよ」など。）</li> <li>・困ったときは一人で悩まず、家族や大人、相談機関に相談することを伝える。また、名前を言わなくても良いことを伝え、相談の第一歩を踏み出しやすくする。</li> <li>・万引き防止の合言葉を声に出して、絶対に万引きをしない・させない・みのがさない気持ちを高める。</li> </ul>
まとめ 10分	<p><b>7 学習を振り返り、まとめをする。</b></p> <p>先生「あなたが万引きをすると、自分や周りの人はどうなりますか。」</p> <p>「万引き防止の学習を振り返り、どのようなことが大切だと考えますか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考えさせた後、一人1台端末を活用して学級全体で考えを共有して、多様な考えに触れさせる。</li> <li>・児童の言葉を大切にしながら、学習をまとめる。</li> <li>・児童の実態等に応じて、万引き防止啓発作品（標語・イラスト・4コマまんが）の作成等、まとめ方を工夫する。</li> </ul>

# 万引き防止啓発「リーフレット」「デジタルワークシート」を活用した指導例

小学校高学年

○授業のねらい

- (1)万引きが犯罪であることを再確認し、お店の人や家族など、周りに傷つく人がたくさんいることを理解する。
- (2)万引きに誘われた際のいろいろな断り方や止め方、また、断わりにくいときの対応の仕方について考える。

○授業の流れ (45分)

	活動の内容	指導上の留意点
導入 5分	<p><b>1 課題意識をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフを見て小学生による万引きの検挙率が多いことを理解する。</li> </ul> <p><b>2 学習問題を確認する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>【学習問題】 万引きを「しない」「させない」「みのがさない」ために、必要なことを考えよう。</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「万引きの検挙・補導人員 学職別状況」のグラフを提示し、小学生の検挙率が一番多いことを読み取らせる。</li> </ul>
展開 30分	<p><b>3 「考えてみよう①」に取り組む。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○×クイズに答える。</li> </ul> <p><b>4 「考えてみよう②」に取り組む。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の範読後、万引きをすると周りの人がどう思うかについて考える。</li> </ul> <p><b>児童</b> 「私は『お店の人』が『困る』と思います。なぜなら商売ができないからです。」</p> <p><b>5 「やってみよう」に取り組む。</b></p> <p>①個人で考え、リーフレットに記入する。</p> <p>②隣の席やグループの児童でAからCのやり取りを役割演技（ロールプレイ）する。</p> <p>③自分の考えを全体で発表する。</p> <p><b>児童1</b> 「私は『万引きはだめだよ』と言うことにしました。万引きは犯罪だからです。」</p> <p><b>児童2</b> 「僕は『親にお願いして買ってもらおう』と言うことにしました。相手を傷つけないように注意するためです。」</p> <p>④強い心で誘いを断ることの大切さやそれでも断りづらい時には周りの人に相談することを理解する。</p> <p><b>6 「万引きだけでなく、このようなこともしてはいけません」について理解する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○又は×と判断した理由を発言させ、児童の多様な考えを引き出す。</li> <li>・一人1台端末を活用して、リーフレットに掲載していない他の○×クイズに取り組む。</li> <li>・万引きがどのような罪になるのか事例を使って紹介する。</li> <li>・「誰」が「どう思うか」を発問し、「なぜそれを選んだか」と理由も問いかけ、考えさせる。</li> <li>・万引きをすると、その後、店から警察へ通報することになっていることを伝え、うたえて記入させる。</li> <li>・自分の考えた行動の仕方で演技をした後、なぜそのように考えたのかを発言させる。</li> <li>・役割演技を見ている児童にも自分ならどうするか問いかけ、発言させる。</li> <li>・多様な対応の仕方があることに気付かせる。 その他の例「(突然そんなこと言われて)びっくりしたよ。」 「今すぐ答えられないよ。」など</li> <li>・困ったときは一人で悩まず、家族や大人、相談機関に相談することを伝える。また、名前を言わなくても良いことを伝え、相談の第一歩を踏み出しやすくする。</li> <li>・児童が行ってしまいがちな行為を例に挙げ、友達や人の物を勝手に使うことも犯罪であることを伝える。</li> </ul>
まとめ 10分	<p><b>7 学習を振り返り、まとめをする。</b></p> <p>先生「万引きを『しない』『させない』『みのがさない』ために、どのようなことが必要でしょうか。」</p> <p>「それを今後の日常生活の中で、どのように生かしていきますか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考えさせた後、一人1台端末を活用して学級全体で考えを共有して、多様な考えに触れさせる。</li> <li>・児童の言葉を大切にしながら、学習をまとめる。</li> <li>・児童の実態等に応じて、万引き防止啓発作品（標語・イラスト・4コマまんが）の作成等、まとめ方を工夫する。</li> </ul>

# 万引き防止啓発「リーフレット」「デジタルワークシート」を活用した指導例

中学校

○授業のねらい

- (1)万引きという不正な行為を絶対に「しない」「させない」「みのがさない」という自らの規範意識をより高めるとともに、万引きの誘いが断りにくいときの対応の仕方を身に付ける。
- (2)万引き防止の事例から、社会の一員としてどのように行動すべきかを考察させる。

○授業の流れ (50分)

	活動の内容	指導上の留意点
導入 5分	<p><b>1 課題意識をもつ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフを見て中学生による万引きの実態を理解する。</li> </ul> <p><b>2 学習課題を確認する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「都内における万引きの検挙・補導人員 学職別状況」のグラフを提示し、中学生の万引きの割合について視覚的に理解させる。</li> </ul>
	<b>【学習課題】万引きを「しない」「させない」「みのがさない」ために、社会の一員として自分が行うべきことを考えよう。</b>	
展開 35分	<p><b>3 「万引きは『窃盗罪』という犯罪です」を読む。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万引きが犯罪であり、罰せられるものであることを再確認する。</li> </ul> <p><b>4 「万引きをした時にどうなるか」を読む。</b></p> <p><b>5 「万引きが見つからなかったら…」を読む。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万引きが常習化するとどうなるのか理解する。</li> </ul> <p><b>6 「考えてみよう①」に取り組む。</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 問題を解く。</li> <li>(2) 答え合わせをする。</li> <li>(3) 元書店員の方の話を読む。</li> </ol> <p><b>7 「考えてみよう②」「やってみよう」に取り組む。</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本文を読む。</li> <li>(2) ①、②を個人で考える。</li> <li>(3) グループの生徒同士で考えを紹介し合い、AからCのやり取りを役割演技(ロールプレイ)する。</li> <li>(4) 学級全体で共有する。 生徒1「僕は『万引きはしない』にしました。万引きは犯罪だからです。」 生徒2「私は『お金を貯めて買おうよ』にしました。相手を傷つけないためです。」</li> <li>(5) 強い心で誘いを断ることの大切さとともに、断りづらい時の対応の仕方を理解する。</li> </ol> <p><b>8 「万引きだけでなく、このようなことも犯罪にあたる行為です」を読む。</b></p> <p><b>9 万引き防止の合言葉を読む。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万引きによる処罰内容を電子黒板等に写したりして視覚化する。</li> <li>・万引きをすると店舗はどのような対応をするか問いかけ、発言させる。</li> <li>・書店が請求した損害賠償の範囲を予想させる。</li> <li>・軽い気持ちでやったことが重大な犯罪につながっていくことを伝える。</li> <li>・作業の進まない生徒には教師が助言をする。</li> <li>・裏表紙下欄を参照にする。</li> <li>・万引きが続くことで経営者だけでなく、社会にはどのような影響があるかを考察させる。</li> <li>・断りにくい理由について意見を交換させ、多様な考え方や感じ方があることに気付かせる。</li> <li>・断り方では、言い方だけでなくその言い方にした理由も発言させる。</li> <li>・Aの言い方について意見を発表させ、多様な言い方や対応の仕方があることに気付かせる。 その他の例「(突然そんなこと言われて) びっくりしたよ。」 「今すぐ答えられないよ。」など</li> <li>・困ったときは一人で悩まず、家族や大人、相談機関に相談することを伝える。また、名前を言わなくても良いことを伝え、相談の第一歩を踏み出しやすくする。</li> <li>・友達や人の物を勝手に使うことも犯罪であることを伝える。</li> <li>・犯罪に手を染めない強い心をもてるように授業者の思いを伝える。</li> </ul>
まとめ 10分	<p><b>10 学習を振り返り、まとめをする。</b></p> <p>先生「今回の学びを振り返り、社会の一員としてどのように行動していきますか。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考えさせた後、一人1台端末を活用して学級全体で考えを共有して、多様な考えに触れさせる。</li> <li>・生徒の言葉を大切にしながら、学習をまとめる。</li> </ul>